

授業科目 運動障害対応実習II

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	スポ
石川知志		開講時期	後期	必修・選択	自由
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 運動により発生する障害の評価、診断を理解し、スポーツ復帰への介助法を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 上肢、下肢、体幹のスポーツ外傷・障害についての診断方法、画像診断、徒手検査法を理解する。 スポーツ障害発生時の対応、スポーツ復帰への補助手段を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	アスレティックリハビリテーションの考え方（1）概念、定義について				
2	アスレティックリハビリテーションの考え方（2）概要、基本的手法について				
3	運動療法の基礎知識（1）エクササイズの目的の理解				
4	運動療法の基礎知識（2）筋力回復、筋力増強エクササイズ				
5	運動療法の基礎知識（3）関節可動域回復エクササイズの理解				
6	運動療法の基礎知識（4）神経筋協調性回復のエクササイズ				
7	運動療法の基礎知識（5）全身持久力回復のエクササイズ				
8	運動療法の基礎知識（6）身体組成管理、再発予防のエクササイズ				
9	物理療法の基礎知識（1）物理療法の基礎、使用法、適応について				
10	物理療法の基礎知識（2）物理療法の紹介				
11	補装具の使用に関する基礎知識 補装具、テーピング、足底挿板の解説				
12	筋力測定の実際				
13	体幹、四肢のレントゲン評価				
14	体幹、四肢のMRI、その他の画像評価				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト7		日本体育協会	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 レポート			【履修上の留意点】		